

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ実習Ⅱ	1	久保 潤二郎	
平成25年度以前	スポーツ実習Ⅱ(柔道②)	1		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ 講道館柔道において昇級・昇段するためには、受け身、投げ技、固め技の修得だけでなく、形を修得しなければならない。本実習では、投げの形を重点的に修得し、講道館柔道初段の取得を目指す。特に警察官志望者の履修を勧める。				言語 共通
授業の概要 授業では十分なウォーミングアップを行い、柔道の基本動作の練習を行う。その上で投げの形の練習を行い、修得状況により適宜自由練習を行う。				専門基礎
授業計画 第1回:ガイダンス(授業計画, 評価方法および昇級昇段方法の説明) 第2回:講道館柔道の歴史と理念 第3回:受け身・基本動作の練習 第4回:投げ技の練習 第5回:固め技の練習 第6回:自由練習 第7回:投げの形の練習Ⅰ-1(手技) 第8回:投げの形の練習Ⅰ-2(手技) 第9回:投げの形の練習Ⅱ-1(腰技) 第10回:投げの形の練習Ⅱ-2(腰技) 第11回:投げの形の練習Ⅲ-1(足技) 第12回:投げの形の練習Ⅲ-2(足技) 第13回:投げの形の演武 第14回:昇級・昇段審査のための練習 第15回:総括 【履修上の注意事項】 怪我に十分に注意すること。また、スポーツ実習Ⅱ(柔道)を履修していることが望ましい。実際の昇級・昇段は本実習とは別に行います。				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 演習
テキスト 投げの形の資料を必要に応じて配布する。				25年度以前 共通科目
参考書・参考資料等 『昇段審査のための柔道の形入門』大泉書店				
学生に対する評価 授業時における毎回の実技テストとレポートにより評価する。また、受講態度を評価に加味する。				